

免許状教科	中学校 I 種 (社会)			
科目名	社会科・地理歴史科 の教育	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Social Studies, Geography and History Education	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	かまだゆきお	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中	
担当者名	鎌田 幸男	修得単位	4単位	
		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	実習に役立つ教育学習内容と教育技術や指導方法を身につける。			
到達目標	中学校の社会科・地理歴史科の指導方法と教材研究の意義を具体的に知る。 1 わかる授業とはどのような指導のことか。何をどう学習することか。 2 学習指導案を作成する。学習活動と指導上の留意点を知る。 3 教材研究とはどのようなことか、その意義を考える。 4 地歴教育の今日的な課題を考える。			
授業概要	学習指導要領の改訂の歴史と変遷を理解する。そして学習指導とはどのようなことかを理解する。そして指導案の作成、教材研究の意味とその仕方、教材の精選とは、授業方法などを考える。また模擬授業を通じて生徒役の仲間とお互いに授業の意見を交換をして、授業意識の高揚を図り、評価力を高め教育実習に役立てる。パワーポイントを作成、電子黒板を使用する。模擬授業の回数は受講者数により変更ある。			
授業計画				
第1回	オリエンテーション—授業の計画と模擬授業概要の説明	第17回	学習指導案の作成と教材研究のこと (1)	
第2回	教育課程の仕組みと意義について	第18回	同 (2)	
第3回	学習指導要領とはどのような内容のものか	第19回	模擬授業 ((1) 公民	
第4回	学習指導要領の歴史と変遷 (改正) について	第20回	模擬授業 (2)	
第5回	新学習指導要領の概要について	第21回	模擬授業 (3)	
第6回	アクティブラーニングと反転授業について	第22回	模擬授業 (1) 地理	
第7回	器材を用いた学習指導法の具体的な見学 (1)	第23回	模擬授業 (2)	
第8回	同 (2)	第24回	模擬授業 (3)	
第9回	模擬授業の意義と授業方法	第25回	模擬授業 (1) 歴史	
第10回	模擬授業を受ける側 (学生) の受け方について	第26回	模擬授業 (2)	
第11回	模擬授業の準備と実施について	第27回	模擬授業 (3)	
第12回	模擬授業の立案構想を立てる。発表する	第28回	公民の模擬授業の意見交換	
第13回	模擬授業に際しての意見交換	第29回	地理の模擬授業の意見交換	
第14回	指導案の意義と作成について	第30回	歴史の模擬授業の意見交換	
第15回	学習指導案の評価について	第31回	まとめ 公民、地歴教育者としての心構え	
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験	
授業時間外の学習	1 学校が置かれている自然環境を知る。 2 その地域の社会環境を知る。 3 教育に関する新聞記事に関心を持つ。 4 博物館の見学をする。			
履修条件 受講のルール	1 教職の資格を取得するというばかりでなく、教師としての意識を持ち、授業に前向きな姿勢と態度をもって授業に臨んでほしい。 2 模擬授業では自分の考えや意見を述べるようにする。次の授業に生きることになる。			

テキスト	テキストは使用しない。
参考文献・資料	中学校学習指導要領（最新版）社会編解説。その他は講義時に随時紹介する。
成績評価の方法	① 定期試験（50％）—前期（25％）、後期（25％）、②指導案（30％）、③模擬授業（20％）、①②③の総合評価とする。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	月・火曜日 9：00—10:30)。これ以外の場合は事前連絡により日程の調整をする。。
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	① 教職を意識した受講になるよう意欲的に頑張りましょう。 ② すべての物事に前向きな姿勢と態度をもって臨んでほしい。